

国家プロジェクト に携わる。

日本年金機構は、国（厚生労働大臣）から唯一、
公的年金の運営業務を委任・委託されている組織です。

私たちは、公的年金の支給をとおして
4000万人以上の方々の暮らしを支えています。

この公的年金の確実な支給を実現している、
“社会保険オンラインシステム”は、
国内でも有数の大規模なシステムです。

今回、当機構の正規職員として、
上流工程から一緒にシステムを創りあげていただける方を募集します。

ITスキルを活かして、
国民の暮らしと未来を支えませんか？



日本年金機構

Japan Pension Service

“日本年金機構”で「システム開発」をするということ

クリエイティブな発想で
仕事を組み立て、
プロジェクトを推進する。

調達、システム開発、システム運用、保守というシステムのライフサイクルに併せ、関連部署と調整し、遅滞なく推進することが主な業務となります。

「日本最大級規模」のシステムを、期日までに作り上げ、安定稼働させることが、機構の核を担う我々の責務です。

業務を遂行するにあたっては、システム開発の上流工程から下流工程まで幅広い知識や、プロジェクトを推進するリーダーシップが必要となります。

大規模システムを 開発・運用する4つの部署

システム企画部

開発計画を企画・立案する。

基幹システム開発部

システム開発（新規開発、更改開発など）のプロジェクトを推進する。

システム運用部

安定稼働に向けたシステム運用及び維持を推進する。

刷新システム開発部

業務・基幹システムをリニューアルするプロジェクトを推進する。

プレイヤーから
メンバーを
マネジメントする立場へ。



発注者側の立場で、 国家プロジェクトに 携わる。

刷新システム開発部
情報連携業務・
システム刷新グループ

太田 延彦

2005年入庁



▶ 上流工程で携わる開発・刷新

私は、お客様の年金記録を管理するシステムで行う年金給付関連業務の刷新に伴い、職員の業務処理フローにおける全体の見直しと、新しい業務フローを見据えたシステムを開発するための要件整理を担当しています。

例えば、システム開発会社との協議の中で発案された新たな機能の追加などがある場合、業務を担う現場の意見を聞きながら可否の判断を行い、現場の意向を踏まえたシステム開発を目指しています。

プロジェクト全体の工程からすると今の進捗状況はまだかなり上流に位置しています。今後は、どのように仕事を割り振り、効率的に仕事を行うかを追求し、職員が働きやすい環境づくりをプロジェクトと並行して実現させていくことが目標です。

▶ みなさんへのメッセージ

新卒で入構している職員は、文理を問わず幅広い人材がいます。しかし、システム部門に携わるにあたって求められる専門的な知識を持ち合わせている者は、まだまだ少ないのが現状です。

豊富な知識・経験を有している皆さんの活躍が待たれています。

ぜひ一緒に日本の未来を担うプロジェクトを推進していきましょう！

休日は 自分の時間も
家族の時間も 楽しんでいます



より良い社会への 貢献のために。

システム企画部
システム基盤整備グループ

鈴木 俊彦

2011年入構

職員紹介 Vol.2

▶ 社会に必要とされる仕事を求めて

私は入構前に、金融機関向け情報システムの開発や運用保守に携わっていました。数々のプロジェクトを経験してきましたが、事業部門との連携やニーズの創出等、企画に関するところは顧客が主体となって担当していたこともあり、企画等の上流工程に携わりたいという思いが強くなりました。また、公共性の高いシステムの開発に携わることで、社会貢献につなげたいという思いもあり、公的年金を取り扱っている日本年金機構に出会い、転職を決意しました。

現在は開発業務やハードウェアの調達等を担当しています。また、全国の年金事務所で使う各種端末等の拠点設備の更改という大規模な事業をこれまで2回経験し、今は3回目の更改を控えているところです。事業部門との丁寧な連携を心がけ、現場の職員が使いやすいシステムとは何かをとことん考えながらプロジェクトを進めています。

▶ 一緒に働きたい人物像

当機構でシステム部門担当者として仕事をする場合、企画、開発、運用・保守のそれぞれのプロセスに関わる機会があります。しかし、現職までの経験で、これらのすべてに熟達していなければいけないわけではありません。

私たちが一緒に働きたいと思う方は、論理的な思考で課題の分析ができ、自ら考え動ける方です。

また、業者と適切なコミュニケーションをとったり、大規模なプロジェクトをチームで協力してやり遂げる力も必要と考えています。

自分の役割を果たしながら、一緒に一つのものを作り上げていくことを楽しめる方をお待ちしています！

- 業務ごとの仕事の流れ -



POINT!

毎 日本年金機構 Japan Pension Service ならではの

「調達」という仕事

調達とは、公的なルールを順守しつつ、業務アプリケーション開発、ハードウェア構築、運用管理などの役務を確実に履行できる業者を選定し、契約を結ぶことです。調達方法には様々な手法があり、一般競争入札、随意契約など、調達に要する費用や開発内容・開発方法によって決定します。厚生労働省の配下の組織である日本年金機構の場合、システム開発等にかかる財源は、国民の税金や保険料から拠出されます。

そのため、調達は公平に行われなければなりません。ルールの遵守を徹底しながら各種公的な手続きや審査を経て業者を決定します。そこからは、マルチベンダー体制で開発、運用・保守を行います。